

◇ 次の文章を読んで、下の問題に答えなさい。

ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだの
げた森の中に、あなをほって住んでいました
夜でも昼でも、辺りの村へ出てきて、いたずら
した。

※ ※ ※

兵十がいなくなると、ごんは、びよいと出
出して、びくのそばへかけつけました。ち
らがしたくなったのです。ごんは、びくの
出しては、はりきりあみのかかっている所
中を目がけて、ぽんぽん投げこみました。
ぽん」と音を立てながら、にこった水の中
した。

いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりました
が、なにしろ、ぬるぬるとすべりぬけるので、手ではつか
めません。ごんは、じれったくなって、頭をびくの中につ
っこんで、うなぎの頭を口にくわえました。うなぎは、キ
ュツと行って、ごんの首へまき付きました。

新美南吉『どんぎつね 新美南吉童話集』（偕成社）より

13 (標準版)

あらすじをおさえながら、
文章を読む習慣をつけていきます。

2

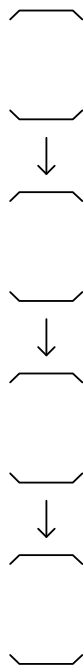
次のア～エは、兵十がいなくなった後のごんの行動で
す。話の順にならべかえなさい。

ア びくの中の魚をつかみ出して、川の中へ投げこむ。

イ 草の中から飛び出して、びくのそばへかけつける。

ウ 頭をびくの中につっこんで、太いうなぎの頭を口に
くわえたが、首にまき付かれる。

エ うなぎをつかみにかかるが、つかめない。



——の「いちばんしまいに」を言いかえたものとして、
あてはまるものに○をつけなさい。

ア 最初に

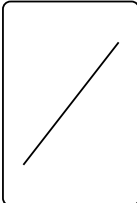
イ 最後に

ウ とちゅうで



1

2





1

次の文章を読んで、下の問題に答えなさい。

ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだのい
げた森の中に、あなをほって住んでいました。
夜でも昼でも、辺りの村へ出てきて、いたずらげ
した。

※ ※ ※

兵十ひょうじゅうがいなくなると、ごんは、ぴよいと草
出して、びくのそばへかけつけました。ちょ
らがしたくなったのです。ごんは、びくの中
出しては、はりきりあみのかかっている所よ
中を目がけて、ぼんぼん投げこみました。ど
ぼん」と音を立てながら、にごった水の中へもぐり
した。

いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりました
が、なにしろ、ぬるぬるとすべりぬけるので、手ではつか
めません。ごんは、じれったくなって、頭をびくの中につ
っこんで、うなぎの頭を口にくわえました。うなぎは、キ
ュツといって、ごんの首へまき付つききました。

新美南吉『いんぎつね 新美南吉童話集』（偕成社）より

定着プリント

いんぎつねの内容を定着させる
プリントです。

ごんはどんなきつねですか。あてはまるものに○をつ
きなさい。

家族のたくさんいる小ぎつね。

ひとりぼっちの小ぎつね。

生まれたばかりの小ぎつね。



ごんはどこに住んでいましたか。あてはまる言葉を書
きなさい。

しだのいっぱいしげった [] の中に、

[] をほって住んでいました。

ごんは村へ出てきて何をしましたか。あてはまる言葉
を書きぬきなさい。

□□□□□□□□□□

ばかりしていた。

④

ごんが——①でつかみ出した「魚」や、——②で口にくわ
えた「うなぎ」は、だれが川からとったものですか。

[]

2

次の文章を読んで、下の問題に答えなさい。

ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだの
 げった森の中に、あなをほって住んでいました
 夜でも昼でも、辺りの村へ出てきて、いたずら
 した。

＊ ＊ ＊

兵十ひょうじゅうがいなくなると、ごんは、びよいと
 出して、びくのそばへかけつけました。ち
 らがしたくなったのです。ごんは、びくの
 出しては、はりきりあみのかかっている所
 中①を目がけて、ぼんぼん投げこみました。
 ぼん」と音を立てながら、にこった水の中へもぐりこみま
 した。

いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりました
 が、なにしろ、ぬるぬるとすべりぬけるので、手ではつか
 めません。ごんは、じれったく②なって、頭をびくの中につ
 っこんで、うなぎの頭を口にくわえました。うなぎは、キ
 ュツと行って、ごんの首へまき付つきました。

新美南吉『いんぎつね 新美南吉童話集』（偕成社）より

発展プリント

さらに発展的な内容の
 プリントです。

①

ごんは、どうしていたずらばかりしたのですか。「」
 にあてはまる言葉を書きなさい。

で、さびしかったから。

—①の「ぼんぼん投げこみました」から、いたずらを
 するごんのどんな様子がわかりますか。あてはまるもの
 に○をつけなさい。

ア めんどくさそうな様子。

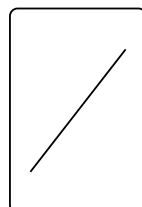
イ 夢中むになっている様子。

ウ いらいらしている様子。

—②について、答えなさい。

(1) ごんは どうして、「じれったく」なったのですか。

(2) 「じれったく」なったごんは、次にどんなことをしまし
 たか。



① ごんはどんなきつねですか。

「で、森の中に」

ほって住んでいる小ぎつね。

② ごんはあたりの村へ出てきて、どんないたずらをか。三つ書きなさい。

(14)

③ ごんがいたずらばかりしたのはどうしてでするものすべてに○をつけなさい。

ア たいくつだったから。

イ 意地悪なきつねだったから。

ウ ひとりぼっちで、さびしかったから。

エ 人間がきらいだったから。

いんぎつね (教科書版)

教科書の本文を読んで 文章を読む習慣をつけていきます。

(14 ページ)

④ ごんが、川下の方へ歩いていくと、川の中では、だれが、何をしていましたか。

(15~17 ページ)

「が、」をとっていた。

兵十ひょうじゅうはなぜ、ぼろぼろの黒い着物を着ていたと考えられますか。次から選び、○をつけなさい。 (17 ページ)

「だらしなないせいだから。家がまずしかったから。」けちだから。

「はりきりあみのいちばん後ろのふくろのようになったところ」に入っていた、きらきら光る白いものは何ですか。一つ書きなさい。 (17 ページ)

兵十がいなくなると、ごんはどんないたずらをしましたか。 (18 ページ)

「をつかみ出して、」

「に投げこんだ。そして」

最後に太い「をつかみに」

かかり、頭を「にくわえた。」



学

ガク
まなぶ

𠄎	、
𠄎	〃
学	〃
学	〃

ぶしゅ
子こ
8かく



れんしゅう しましょう。

学
学
学



学の つく ことばを あつめましょう。



学を つかって ぶんを つくりましょう。

漢字 基本プリント (小学校)
それぞれの漢字の練習プリント



◆ () にはよみがな、□にはかんじ、「」にはかんじとおくりがなをかきなさい。

(1) 今週いましゅうの よていよていを 立てるたてる。

(2) 雪ゆきだるまだるまをつくる。

(3) きょうきょうは 風かぜが つよいつよい。

(4) 生きいきものがかりものがかりになつたなつた。

(5) ぶたぶたが まるまるまるまると 太ふとる。

(6) 学校がっこうの 正門せいもんで まちあわせまちあわせる。

(7) かみの □けを とかすとく。

(8) いちごいちごを かごかごに いれる。

(9) まちまちに まつたまつた □はるが きたきた。

(10) 先生せんせいに おれいおれいを いう。

漢字 用例プリント

教科書単元を指定し、その範囲
の新出漢字をピックアップ。
読み・書き・混合のランダム
出力も可能